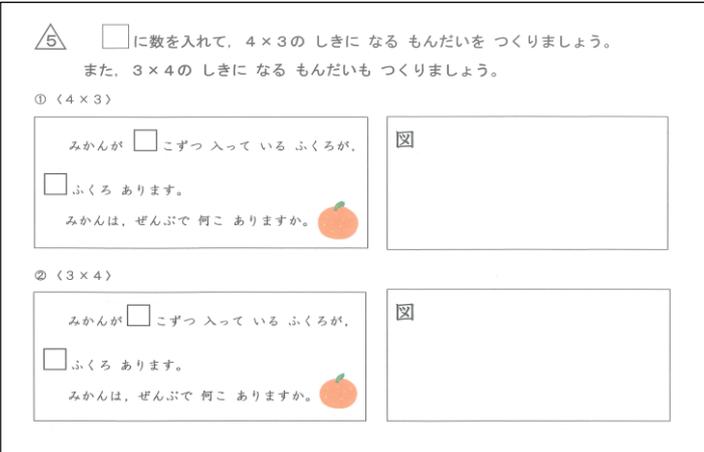


3 「わかった」「できるようになった」～ねらいに即した適用問題の設定

<テーマ>自作の適用問題を活用した取組（大河原町立大河原南小学校）

<実践例>全学年

○教科書の適用問題以外にも、児童の実態を踏まえ、自作の適用問題を作り、取り組ませた。

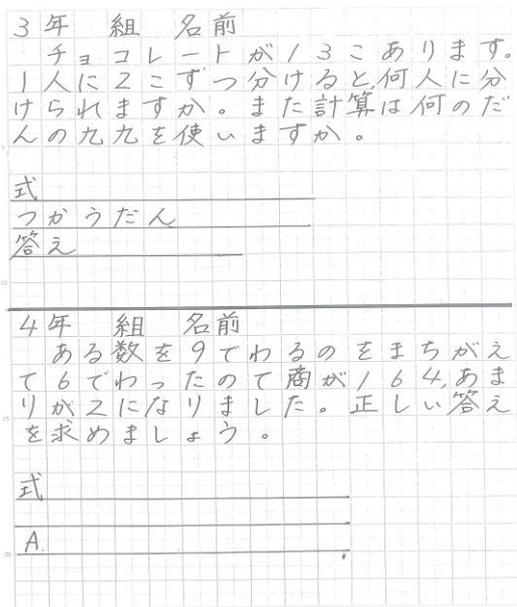


↑教科書では穴埋めだけの問題だったが、図をか

スペースも確保し、児童の思考を整理しやすくしている。

↑自作の適用問題

○毎日の授業のねらいに即した適用問題プリントを作成し、家庭学習として取り組ませる。また、裏には前学年の問題を載せておくことで、既習の内容も復習することができるようにしている。



3, 4, 6年生の少人数授業を担当している教員が毎日作成している。授業のねらいに即した適用問題以外にも、児童が苦手としている問題や定着に時間のかかる問題なども取り上げて、復習に活用できるようにしている。

(児童の反応)

- ・教科書の問題を基にして図をかいて考えるなど、多様な解決方法に取り組ませることで、「できるようになった」と実感し、児童の深い学びにも繋がった。
- ・発展的な適用問題に取り組むことにより、算数の学習が得意な児童の知的好奇心を引き出し、達成感を味わわせながら学力の向上を図ることができた。
- ・授業の適用問題を家庭でも取り組むことにより、学習の定着を図ることができた。
- ・前学年の問題に毎日取り組むことで、日常的に学習の振り返りをすることができた。